

令和 6 年度

苫小牧市図書館協議会第 1 回臨時会 会議次第

開催日時 令和 6 年 1 2 月 1 7 日（火）午後 3 時
開催場所 苫小牧市立中央図書館 2 階講堂

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 教育長挨拶

4 委員自己紹介

5 会長・副会長選出

6 会長・副会長挨拶

7 図書館協議会の役割・主な任務

8 議事

- (1)（報告）令和 5 年度図書館運営に関する点検と評価について
- (2)（報告）令和 6 年度事業について
- (3)（議案）苫小牧市図書館蔵書整備計画の中間見直しについて

9 その他

図書館に関する各種計画について

10 閉会

*閉会后希望者による館内見学会（30分程度）を予定

苫小牧市立中央図書館 評価と点検について

苫小牧市立中央図書館
指定管理者 TRC 苫小牧グループ

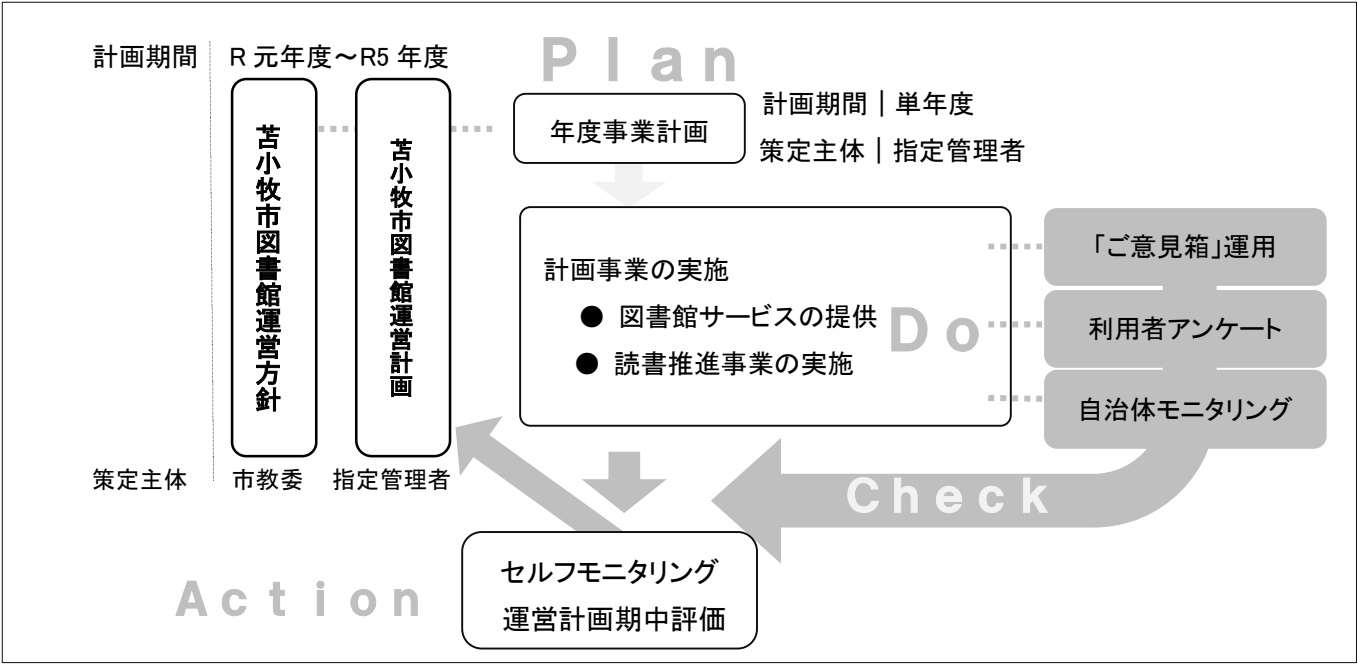
【 参 考 】

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月19日文部科学省告示第172号)

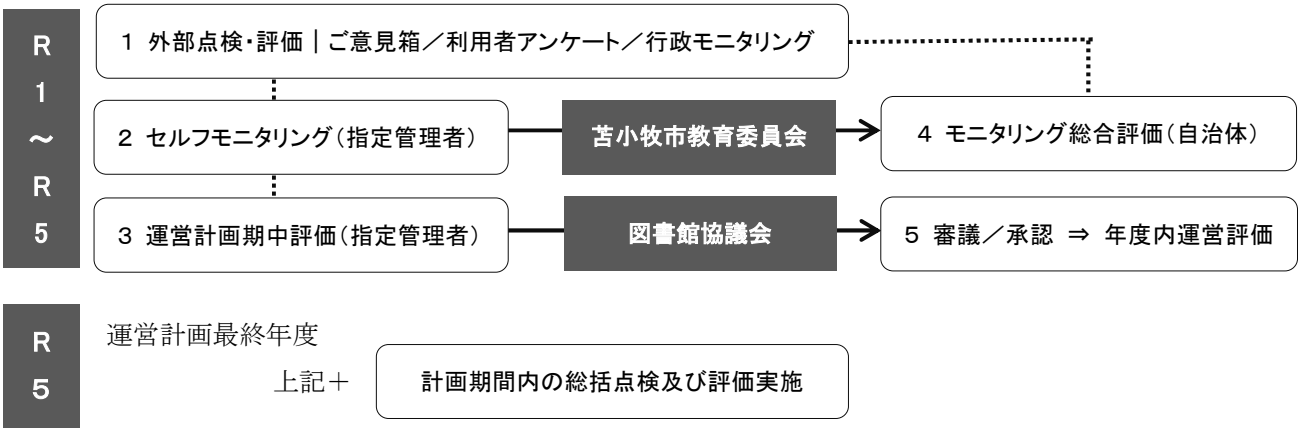
第二――1―(二)運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

1. 運営のフレーム



2. 点検・評価の実施方法について



苫小牧市立中央図書館 図書館運営計画 期中評価(令和5年度)

苫小牧市図書館運営計画で予定した令和5年度の取組について、指標達成度を自己評価いたします。

図書館運営計画	No.	目標内容			
	1	基礎的な図書館サービスの充実			
	2	家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化			
	3	教育的役割を重視した取組の推進			
	4	魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築			

運営計画1 基礎的な図書館サービスの充実					
事業名	具体内容	実施	取組状況		備考
1-1 資料・情報収集機能の充実	収集基準に基づいた資料収集	○	適時収集		
	特徴ある資料（大活字・洋書・ほか）の継続収集と充実	○	〃		
	郷土・行政資料の継続収集	○	郷土・行政資料蔵書冊数38,049冊		
	電子書籍をはじめとした電子資料の収集	○	引き続き「デジタル伊能図」・「雑誌サービス」を導入		
1-2 資料・情報提供機能の充実	参考郷土資料室の活用と周知	○	随時		
	レファレンスサービスの周知と充実	○	レファレンスサービス受付件数 3,618件		
	電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知	○	見学・図書館探検ツアーなどイベント時に説明をしPRを図る		
1-3 資料・情報保存機能の充実	資料の適切な管理と保存	○	随時		
	TRC-ADEACを活用したデジタルコンテンツの活用	○	随時		
	電子書籍による地域資料の作成と活用	○	随時。デジタル化点数（累計）10,545点		
1-4 図書館という空間の魅力向上	利用ニーズの把握及び運営への反映	○	サービスアンケート・ご意見箱投書ほかで随時対応		
	乳幼児・保護者のための環境整備	—	毎週木曜日「こそだてtime」を実施 絵本3冊入った「ベビーベアーバック」の貸出		
	障がい者のための環境整備	○	電子図書館テキスト版（視覚障がい者向け）運用中		
	高齢者のための環境整備	○	読書補助具をカウンターに設置		
	フリースペースとしてのリラックススペースの活用	○	電子図書館を見ることができるipadを設置。本の展示スペースとして活用		
	外国語版利用配慮	○	随時配布		
運営計画1における成果指標	指標算出方法	基準値 (H29)	目標値 (R5)	当年実績	達成率
郷土行政資料の蔵書冊数	—	33,938冊	35,000冊	38,049冊	108.71%
郷土行政資料のデジタル化点数	—	9,797点	10,450点	10,545点	100.91%
自己評価					
今年度、新型コロナウイルスが5類に移行したが、新型コロナウイルスの影響は色濃く残っている中での図書館運営であった。着実に浸透しているのが乳幼児・保護者のための環境整備のための「こそだてtime」だが、その時間に「赤ちゃん、絵本のとびらバック」の引き換えに来館する親子を見かけることが増え、効果を感じている。ただ、現在のサービスに留まらず、今後の動向・ニーズに日々対応していきたい。成果指標としてあげていた郷土資料のデジタル化に関しては、積極的に電子図書館のコンテンツとして登録した。ログインせずに見ることも出来るため、様々な方に郷土資料をご覧になっていただきたい。また、新たに電子図書館内で他市とデジタル郷土資料の交流展示を行い、郷土資料の魅せ方の一つとして参考になったと感じている。					

運営計画 2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化					
事業名	具体内容	実施	取組状況		備考
2-1 課題解決の支援	レファレンスサービスの周知と充実（再掲）	○	レファレンスサービス 受付件数 3,618件（再掲）		
	ICTを用いた情報入手の周知	○	適時実施		
	パスファインダーの作成・配布	○	「鮭（一般）」「SDGs 3・4（児童）」		1・2月
	レファレンス技能の向上	○	各種研修会への参加		
	ICT活用講座の継続開講とその拡充	○	見学・図書館探検ツアーなどイベント 時に説明をしPRを図る		
	時節に合わせたテーマ展示 （一般・児童・参考郷土）	○	一般67回 児童42回 郷土16回		
	他市との交換展示	○	八王子市（東京都）		10月
	★妊婦向け絵本講座の開催	○	「プレママプレパパ絵本講座」 12月16日開催 3組7名		
	★子育て情報コーナーの開設	○	「よみきかせマップ」や市内の児童向け施設や情報を 紹介するコーナーを児童カウンター前に設置。		1月
	★自分史作成講座の開催	○	「これから始める自分史入門」 11月29日開催 5名		
2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	市民協働、外部連携の促進	○	適時実施		
	市民ボランティア団体との連携	○	適時実施		
	ボランティア養成講座の開催	○	新規ボランティア養成講座を実施		3月
	既存ボランティア（団体・個人）の活動支援	○	青空こども図書館 おはなし玉手箱実施		8・2月
	図書館文化セミナー（郷土）開催	○	「本日限定開店！味の大王～情熱 （ハッショ）～中央図書館支店」 1月27日開催 31名		
	市民協働事業の推進	○	随時実施		
運営計画2における成果指標	指標算出方法	基準値 (H29)	目標値 (R5)	当年実績	達成率
レファレンス受付件数	—	7,362件	7,500件	3,618件	48.24%
自己評価					
成果指標として挙げている「レファレンス受付件数」は、今年度も未達成だった。徐々に利用は戻ってきているため、非来館者サービスの一環として進めていたレファレンス専用の受付フォームも活用しつつ、今後も聞きやすい環境づくりに取り組んでいく。今年度の新規事業は、一般向け中心の事業展開をした。「プレママプレパパ絵本講座」や「これから始める自分史」は参加人数は振るわなかったが、参加した方々から好評で次回開催を求める声が多かった。郷土セミナーに関しては少し「郷土」のハードルを下げる意味を込め、「食」というテーマを選んだ。苫小牧のソウルフードの「カレーラーメン」をとりあげたことで、子どもたちにも参加していただけた。内容も好評だったので、今後も「食」のテーマを検討していきたい。					

運営計画 3 教育的役割を重視した取組の推進					
事業名	具体内容	実施	取組状況		備考
3-1 子どもの読書活動の推進	乳幼児コーナーの充実	○	毎週木曜日に「こそだてtime」実施		
	「赤ちゃん絵本とびら」事業への協力と連携	○	随時実施		
	「赤ちゃんと楽しむ絵本広場」の開催	○	10回 延べ参加者数125人		
	読書への関心を高める体験型事業の実施	○	絵本作家ワークショップ 7月1日開催 37名 絵本作家ワークショップ 11月3日開催 43名		
	図書館文化セミナー（児童）の開催	○	親子向け作家講演会 10月1日開催 40組55人		
	学校図書館支援事業	○	「ブックちゃん」「まなぶくん」		
	ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実	○	YA通信の学校配布、職業体験時での定期的なPOP展示の連携		
	「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」継続開催	○	応募者数 12作品 入選 10作品		
	苫小牧学校図書館協会との連携	○	読書感想文、感想画など共催ほか		
	市内関連部署との連携	○	健康支援課・介護福祉課ほか		
	移動図書館車による市内保育園への団体貸出	○	随時実施		
	児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実	○	随時実施		
	★市内関連施設情報の集約と情報発信（おでかけマップ）の作成・配布	○	児童カウンター前の「子育て情報コーナー」にて配布		2月
3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成	図書館文化セミナー（一般）の開催	○	「絵本の「ことば」～文字が声に変わる読み聞かせ～」 4月29日開催 50名		
	成人に向けた読書環境支援	○	「ブックディレクターになりませんか？」 11月25日開催 8名		
	コーナー図書室と連携した全域サービスの展開	○	随時実施（定期連絡会・コーナー巡回・SNSでの情報発信ほか）		
	市内各施設との協働・連携事業	○	美術博物館・科学センターとの連携		
運営計画3における成果指標	指標算出方法	基準値 (H29)	目標値 (R5)	当年実績	達成率
児童貸出冊数（中央）	—	77,687冊	79,500冊	61,879冊	77.84%
ブックちゃん貸出件数	—	142件	180件	183件	101.67%
自己評価					
コロナ禍になり中止になっていた「苫小牧学校図書館協会研修講師派遣」だが、今年度「北海道学校図書館研究大会」に講師を派遣することが出来、5類への移行になったことを肌で感じることが出来る出来事だった。また、今年度の一般セミナーは読み聞かせボランティアさんの活性化支援として、児童書に特化した出版社さんに講師を依頼した。読み聞かせについての講演は、参加していただいたボランティアさんから好評であった。今後も読み聞かせボランティア支援に取り組んでいきたい。					

運営計画 4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築					
事業名	具体内容	実施	取組状況		備考
4-1 効果的・効率的な図書館運営	業務改善の実施	○	随時実施		
	個人情報保護のための取組の継続	○	「個人情報監査（本社による）」 「プライバシーマーク研修」の実施		7月 8月
	利用者要望の把握と実現	○	サービスアンケート・ご意見箱 投書ほかで随時対応		11月
4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承	接遇の向上	○	随時実施		
	専門性の向上	○	館内研修で実施。新規として「学校図書館司書合同研修」を開催		6月 12月
	郷土に関する研修の実施	○			3月
	危機管理に関する意識の共有と研修の実施	○	随時実施		
	個人情報保護研修	○	「プライバシーマーク研修」の実施		8月
4-3 図書館サービスの周知	図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信	○	随時実施		
	インターネットを用いた情報発信の充実	○	HP・X(旧Twitter)での情報発信		
	デジタルサイネージの活用	○	SNS表示のほか、「ぱびるす」やイベント告知に活用		
	地域デジタルコンテンツの公開と充実	○	電子図書館で郷土資料を独自資料として公開		
4-4 アウトリーチの促進	要望に応じた人材の派遣	○	まなぶくん・出張おはなし会へのスタッフ派遣		
	障がい者サービスの周知	○	随時実施		
	移動図書館車を用いたアウトリーチサービス	○	保育園などへの団体貸出など随時。 ネピアアリーナへの「出張！移動図書館！」 1月6日開催 42名		
	非来館型サービスとしての電子図書館の充実	○	前年度より引き続き「デジタル伊能図」・雑誌サービス導入・郷土資料コンテンツ数増		
運営計画4における成果指標	指標算出方法	基準値 (H29)	目標値 (R5)	当年実績	達成率
司書派遣事業件数	—	11件	15件	20件	133.33%
利用者満足度	—	94.2%	94.3%	94.8%	100.53%
自己評価					
アウトリーチに積極的に取り組んだ1年であった。総合体育館で開催された「とまこまいStyle」「北海道大学苫小牧研究林」と新規連携先でも開催した。またその「出張！図書館」に移動図書館車を活用し、周知活動・利用促進に繋げることが出来たと考えている。今後も移動図書館車も積極的に活動していく。また、学校司書との合同研修を2度開催し、司書としての知識をつけるとともに、お互いの情報共有を行い、今後も活発的に学校図書館と連携していこうと考える。					

2023年度 単年度目標					
単年度指標	内容	基準値 (H29)	目標値 (R5)	当年実績	達成率
新規利用登録者数	基準値増加率103.2%	2,277人	2,350人	1,733人	73.74%
入館者数	基準値増加率103.0%	309,377人	318,800人	227,449人	71.35%
貸出人数	基準値増加率102.5%	92,006人	94,350人	74,953人	79.44%
貸出冊数	基準値増加率102.5%	451,748冊	463,200冊	374,334冊	80.81%
自己評価					
いずれの数値も目標値に対して未達成となった。コロナ禍以前の数値に戻るにはまだまだ時間がかかると考える。利用者の読書意欲の復活を待つだけでなく、図書館として今何が出来るのか模索し、今後も利用者サービスに取り組んでいく。					

令和5年度年度総合評価	
令和5年度は、新型コロナウイルスが5類に移行しても、まだまだコロナ禍の影響が色濃く残る一年だった。コロナ禍以前の数値までは戻っていないが、サービスの中には、コロナ禍以前に戻ってきている箇所も見受けられる。今後も引き続き利用促進に努めたい。また、施設管理に関しては、年々経年劣化による修繕が多くなっており、今年度も言うに及ばず、館としても多く対応したが、生涯学習課にも大がかりな箇所に関してはご協力をいただいた。今後も少しでも長く使用できるように延命措置的な修繕に取り組んで行く。	

苫小牧市立中央図書館の自己評価並びに自己評価説明及び点検を踏まえ実施した図書館協議会委員による評価は以下のとおりです。

令和 6 年 6 月 2 6 日

苫小牧市図書館協議会 会長 松井 操人

<総評>

令和 5 年度の苫小牧市立中央図書館の運営については、コロナウイルス感染症が 5 類に移行され、幅広い層に向けて多彩な事業を実施されていました。

郷土資料の着実な収集やデジタル化も進んでいる点は評価できます。また、乳幼児から高齢者など様々な方のための環境整備に努められており、特に「こそだて time」は利用者にも好評であることがうかがわれます。幼少期からの読書習慣の確立は最重要であると考えられますので、環境整備のほか、読み聞かせボランティア支援の拡充および継続にも取り組んでいただき、子どもが自発的に読みたい本を探しに来るような図書館になることを期待します。

また、学校図書館との連携はすでに行われておりますが、全ての子どもたちが本に触れられる機会が与えられた学校図書館は貴重な場所であることから、さらなる連携の充実を希望します。

郷土文化セミナーで幅広い層に興味を持ってもらう工夫や時節に合わせたテーマ展示を実施する等、市民の課題解決に資する取組を多数行っている点は評価できます。しかし、「絵本講座」等、参加人数が少ない事業もあり、より多くの人に参加してもらえる工夫を考えていただくとともに、課題解決の要であるレファレンスの周知やデジタル難民を増やさない工夫、さらには高齢化社会への対策が必要であると考えます。

職員の接遇や育成向上に努力されており、利用者アンケートの結果からも満足度の高い図書館であることがわかります。司書派遣事業やアウトリーチ事業を積極的に取り組んだことは評価できると考えます。さらなる利用者拡充に向け、図書館を利用していない市民へのアンケート等も検討していただきたいと考えます。

成果指標については、達成率が高いものもあり、その点は評価できますが、数字よりも事業内容の吟味について考える必要があると考えます。

施設管理については、建物の老朽化が進み、修繕等に時間がかかっていたように感じます。環境整備費等の増加を希望するとともに、修繕等には早急な対応をしていただくよう改善を求めます。

総評並びに以下に記載する各委員の意見のまとめのほか、アンケート記載の利用者意見等を参考に、更なる図書館運営の充実に努めてください。

「基本目標 1 基礎的な図書館サービスの充実」について

【評価する点】

- ・幅広い層に向けてサービスの充実を図っている点。
- ・「こそだて time」によく図書館を利用している方から、流れる音楽は子ども連れでなくても雰囲気が良く、居心地が良いと伺いました。
- ・数字目標の達成度が高い点。
- ・乳幼児から高齢者、障がい者など、いろいろな方のための環境整備をしている点。
- ・時流の変化を考慮しつつ魅力ある図書館を目指して、図書館の魅力向上の新しい施策にいくつも取り組んでいる点。
- ・郷土資料の蔵書冊数も着実に増加し、かつデジタル化も進んでおり、苫小牧市の貴重な資料や情報の保存に寄与している点。

【改善を要する点】

- ・子どもの読書のきっかけは、家庭での保護者による読み聞かせです。学校や保育園、幼稚園での読み聞かせも行われていますが、なにかの行事という色合いが濃く、家庭での何気ない時間での日常的な読み聞かせが多く、家庭で行われ、それをきっかけに子どもが自分の読みたい本を探しに来るような図書館になることを願うばかりです。
- ・高齢者は読書をしたいと思っても、目が疲れやすい、行き来が大変（特に凍結路面の時期）です。今後、ますます高齢化社会になることを考えますと、高齢者施設等との連携や音訳・朗読サービス等の充実等の対策を考えていく必要性を感じます。
- ・数字よりも内容吟味についての考察が必要かと思われます。
- ・過日、昼食を持参して来館した際に、どこで食べられるのかがわからず、サンガーデンの事務室で尋ねると、サンガーデン内のどこでも飲食できますよとのことだったので、安心して食事をすることができました。また、公共バスでの来館のために、何番の路線、どこで乗り降りするかなど、先ほどの食事場所と合わせて「利用情報」があると便利ではないでしょうか。
- ・夏の暑さ対策が求められます。日当たりのよい建物ですのではなおさらでしょう。

「基本目標 2 家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化」について

【評価する点】

- ・郷土セミナーで「カレーラーメン」を取り上げる等、幅広い層に興味をもってもらえるように工夫している点。
- ・小さな子どもを預かる施設としては「青空こども図書館」はとても利用しやすいため、継続を希望します。
- ・職員の皆さんの明るく丁寧な接客対応は、ますます好評価で素晴らしいことだと思います。また、フロアボランティアの皆さんの協力も、目を見張るものがあります。いつ訪れても新鮮さを感じることができる空間作りに、細やかな配慮や工夫が見られることは、本当にありがたいことだと思っています。
- ・色々とあの手この手で、ご苦労様です。
- ・時説に合わせたテーマ展示を合計 125 回実施したり、妊婦向けの新規事業を実施する等、市民の課題解決に資する取り組みを多数行っている点。
- ・他市との交換展示が良かったです。

【改善を要する点】

- ・今後さらに進化していくであろう ICT の分野が苦手な世代にどう活用してもらうかを検討していただきたいです。「よくわからない」という思い込みから、使わない、使えないという状況へ静かに移行している人を増やさない工夫が必要だと感じています。
- ・自己評価にもありますが「プレママプレパパ絵本講座」などの参加者数が少ないので、年に数回行なうなど、もっと多くの人に参加してもらえる工夫が必要かと思います。
- ・わりと気軽にレファレンスさせてもらっています。ハードルの低さをみなさんに知ってもらいたいものです。

「基本目標 3 教育的役割を重視した取組の推進」について

【評価する点】

- ・ 移動図書館車の取組
- ・ ボランティアさんへの支援
- ・ 実に多彩な事業が展開され、職員の皆様の力と知恵、思いを感じます。ひとつひとつの事業に発想の豊かさや誠実さを見ることが出来、感嘆しています。
- ・ 若者層に対するアプローチも多種多様な準備がされており、幅広く対象セットされている点。
- ・ 赤ちゃんに対する事業が多く、本との初めての関わりが充実している点。事業を続けることが、読書推進への道につながると感じています。
- ・ コロナ禍で実施できていなかった事業を含め、各事業を実施できている。
- ・ 赤ちゃんと楽しむ絵本広場や読書への関心を高める絵本作家ワークショップなどは参加があり、良かったと思います。

【改善を要する点】

- ・ 学校図書館との連携は既に行われていますが、今後更なる充実をお願いします。家庭による貧富の差や読書環境に対する意識の差といったものを強く感じる昨今、学校図書館は、全ての子どもたちが本に触れる機会を与えられている貴重な場所だと認識しています。
- ・ ターゲット別の宣伝対策が必要だと感じています。例えば、教育委員会を通じた小中学校への連絡の徹底。DM、各種イベントでのビラ配り、宣伝の強化など。
- ・ 幼少期からの読書習慣の確立は最重要と考えられますので、読み聞かせボランティア支援の拡充および継続に取り組み、児童貸出冊数の増加にもつながることを期待したいです。

「基本目標 4 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築」について

【評価する点】

- ・各年代によって情報収集の方法はそれぞれ違う中、様々な方法で発信している点。
- ・職員接遇、育成向上に努力されている点。
- ・アンケート結果から、満足度の高い図書館であることがわかります。これは常に自己評価を行い、研修を重ねているからこそだと思います。限りのある予算や時間の中、最大の効果をあげていると感じます。
- ・全体的に努力・改善を感じます。
- ・司書派遣事業件数が増えている点。
- ・図書館にとどまらず、アウトリーチに積極的に取り組んだことは大変良かったと思います。今後も参加できそうイベントにはチャレンジして欲しいと思います。
- ・アンケートにより利用者要望を把握し、すべての意見に対して回答や対応をきちんと行っている。

【改善を要する点】

- ・他の自治体の図書館を見ると、その街の文化の高さを感じます。苫小牧市の図書館は、運営が素晴らしいと感じる一方で、老朽化が目立つ、破損や故障の修繕に時間がかかっている等々、予算的な課題を感じることも多々あります。改善を希望します。
- ・環境整備（費）の充実、運営費の増加。
- ・中央図書館と図書コーナーは、図書の貸出については同じことをしている施設なのに、図書館協議会で話題にすることはありませんでした。別施設ではあるが、実績の紹介に期待しています。
- ・「職員の入れ替わりが速い」という点は、賛否両論あるかと思いますが、このことが課題として上がってくるということは、頻繁に入れ替わることで何かデメリットを感じる人が多いのだと思います。入れ替わることでの評価ポイント（何かあれば）を今後は明らかにできるといいのではないのでしょうか。
- ・利用者数の拡充に向けた取り組みを実施するため、図書館を利用していない市民へのアンケート等について検討するのはどうでしょうか。

令和6年度 苫小牧市立中央図書館事業一覧 (2024年11月末日時点)

＜運営計画 1 関連事業＞							
No.	事業名	新規	開催日程	対象	参加者数	(前年参考値)	内容／共催・後援等
1	とまこまいのふしぎ発見！		年1回	児童	—	—	苫小牧ゆかりの事象・事物について、資料情報等を交え電子図書館などで広く紹介。2024年度は「とまこまの苫小牧さんぽ サンガーデン」を作成予定。
2	サピエによる情報提供事業		通期	一般	—	—	視覚障がい者及び弱視者、高齢者を対象に、点字・音訳データの提供を通じ、公平な読書環境の整備を図るもの。
3	こそだてtime		通期	乳幼児 保護者	—	—	毎週木曜日10時～12時に館内に音楽を流し、乳幼児・児童をお持ちの保護者が気兼ねなく来館できる環境を整える。
4	定例上映会「図書館ミニシアター」		年度内5回	児童・一般	29人 (5回中3回)	103人 (5回開催)	祝日開館した奇数月月曜日に図書館所蔵の上映許諾資料の無料上映会。
5	バリアフリー映画の上映会		9月16日	児童・一般	15人	15人	視覚障がい者向けの字幕・音声ガイド入り映画作品の無料上映会。
6	電子図書館交流展示2024		10月27日～ 11月30日	一般	—	—	電子図書館上において、互いの独自資料（郷土関係の電子書籍等）を期間限定展示する資料交流展示。 共催 八尾市立龍華図書館（大阪府）、豊田市中央図書館（愛知県）
＜運営計画 2 関連事業＞							
No.	事業名	新規	開催日程	対象	参加者数	(前年参考値)	内容／共催・後援等
7	時短読書サービスflier導入	○	6月1日	一般	—	—	多忙なビジネスパーソン向け、短時間でビジネス書を読めるWEBサービスを展開する。
8	本のぼくりっこ市		7月27日	児童・一般	180人 1,156冊	126人 892冊	図書館不要資料と参加者持込図書の交換会。 (苫小牧アートフェスティバル2024) 協力 図書館ボランティア
9	朗読研修会		9月13日	一般	15人	15人	朗読ボランティア向け技術講習会。 講師 田中隆子氏（フリーアナウンサー） 協力 苫小牧市朗読赤十字奉仕団
10	レディーグルス北海道 パブリックビューイング		9月14日 (～3月予定)	一般	63人	147人 (3回開催)	新規利用者獲得・周知を図るため、レディーグルス北海道の試合を図書館内で観戦し、相互に新たな層を獲得する。 共催 レディーグルス北海道
11	レディーグルス北海道 アイスアリーナおはなし会		9月21日 (～3月予定)	一般	16人	17人 (1回開催)	新規利用者獲得・周知を図るため、レディーグルス北海道の試合時に、アイスアリーナでおはなし会を開催する。 共催 レディーグルス北海道
12	図書館文化セミナー（郷土） 「手始めに日々の出来事を記録しよう— エッセイを切り口として—」		9月28日	一般	48人	31人	郷土に関する市民向け講演会。 講師・共催 苫小牧市民文芸編集委員会事務局
13	他市図書館との交換展示 「栃木県日光市」		10月1日～ 10月24日	一般	—	—	共通項を持つ自治体同士で交換展示を行う事で、市民の知的好奇心を喚起させ、図書館の活用を促進する。
14	法律セミナー やさしい相続	○	12月14日	一般	実施予定	—	一般向けに暮らしの法律に関する講座を実施。 講師 中尾宏之氏（のぞみ行政書士事務所）
15	レディーグルス北海道 WASHIとーく		9月～3月 (予定)	一般	実施予定	43人 (1回開催)	新規利用者獲得・周知を図るため、レディーグルス北海道関係者によるトークライブを展開し、相互に新たな層を獲得する。 共催 レディーグルス北海道

16	新年絵本カルタ大会	○	1月4日	児童	実施予定	—	絵本カルタを用い、リラックススペースでカルタ大会を開催し本に親しみを持ってもらうとともに、リラックススペースの利用促進を図る。
17	ボランティア研修会		2月（予定）	一般	実施予定	13人	個人ボランティア向けスキルアップ講習会。
18	ボランティア養成講座		3月（予定）	一般	実施予定	6人	図書館での活動を希望する個人に対する事前講習会。
＜運営計画 3 関連事業＞							
No.	事業名	新規	開催日程	対象	参加者数	（前年参考値）	内容／共催・後援等
19	赤ちゃんを楽しむ絵本ひろば		年度内10回	乳幼児 保護者	58組116人 （10回中7回）	61組 125人	「赤ちゃん、絵本のとびら事業」フォローアップ事業。 乳幼児・保護者向けのみみきかせ・絵本配布等。
20	子育て情報発信コーナー		通期	児童・一般	—	—	市内施設・機関のパンフレット含め、子育て情報を網羅的に紹介するコーナーを設置。
21	ぶつくのーと配布事業		通期	児童	製作数500冊 既配布222冊	製作数800冊 既配布428冊	記入式の読書記録手帳の作成・配布。
22	学校用貸出セット「ブックちゃん」事業		随時	児童	—	—	小学校・中学校への読書活動の支援。
23	児童センター用貸出セット「ぐるりさん」事業		随時	児童	—	—	児童館への読書活動の支援。
24	団体貸出（小中学校、読み聞かせグループなど）		随時	児童	—	—	団体への読書活動の支援。
25	読み聞かせ活動グループ活性化支援事業		随時	児童	—	—	スキルアップ研修等を実施。
26	苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会活性化支援事業		随時	児童	—	—	共催事業の講演会、研修会等の実施。
27	Y A 世代交流展示		随時	児童	—	—	YA世代の交流の場を創出し、コーナー展開をする。
28	LIUBライトイットアップブルー（世界自閉症啓発デー）関連展示		3月30日～ 4月25日	児童・一般	—	—	自閉症に関する特集展示。 共催 北海道自閉症協会苫小牧分会（あじさいの会）
29	子どもの読書週間行事 『ねえねえあのね』原画展		4月20日～ 5月19日	児童・一般	—	—	しもかわらゆみ氏による絵本『ねえねえあのね』原画展。 協力 講談社
30	子どもの読書週間行事 レッドイーグルス北海道選手オススメ本 & パネル展示		4月27日～ 5月30日	児童・一般	50部 配布	50部 配布	レッドイーグルス北海道選手オススメ本リスト配布・パネル展。 共催 レッドイーグルス北海道
31	一日司書体験		5月3日	児童	9人	10人	小学生対象の公募型職場体験。
32	来苫100年記念宮沢賢治おはなし会 & ストーリーテリング	○	5月18日	児童・一般	38人	—	児童向けのおはなし会と一般向けのストーリーテリングを実施。 協力 M'sきゃまらど、墨谷真澄氏、おはなしオルゴール
33	本といっしょの人権パネル展		6月1日～ 6月9日	一般	—	—	人権に関するパネル展示、関連本特集展示。 協力 苫小牧人権擁護協議会
34	図書館を駆け抜けろ！～ミッション 速く走るコツを身に着ける～		6月8日	児童	20人	10人	レッドイーグル北海道選手による走り方の指導と関連資料で走り方を学ぶ体験型事業。 協力 レッドイーグルス北海道

35	食育パネル展&クイズ&ブラインドブック 「みんな、あなたの体をつくるおともだち！」		6月12日～ 6月30日	児童	50冊	—	食育に関するパネル展示、クイズ実施、ブラインドブック特集展示。 共催 健康子ども部健康支援課
36	男女共同参画週間展示		6月18日～ 6月29日	一般	—	—	男女共同参画週間にあわせて関連本特集展示。 協力 苫小牧市総合政策部協働・男女平等参画室
37	合同研修・ボランティア活性化支援事業 「子どもに本を手渡すということ～作り手の願い～」	○	6月26日	関係団体	58人	—	講師によるブックトーク。中央図書館スタッフ・図書コーナースタッフ・学校図書館司書・読み聞かせボランティア団体会員が参加。 講師 井上みほ子氏（瑞雲舎社長）
38	夏休み読書感想文コンクール		7月作品募集	児童	応募数107点	応募数164点	入選 56点 表彰式 10/19 共催 苫小牧学校図書館協会
39	夏休み読書感想画コンクール		7月作品募集	児童	応募数32点	応募数33点	入選 18点 表彰式 10/26 作品展示10/26-11/3 共催 苫小牧学校図書館協会
40	市内小学校図書委員向け一日司書体験（前期）		7月7日	児童	15人	14人	図書委員対象の職場体験。 共催 苫小牧学校図書館協会
41	平和祈念週間行事 戦争・平和関連資料展示		7月27日～ 8月29日	児童・一般	—	—	戦争・平和関連の児童・一般向け資料展示。
42	転籍本配布		7月23日～ 7月31日 3月（予定）	関係団体	15団体 482冊 (2回中1回)	17団体 529冊 (2回開催)	保育園、小学校など団体へ配布
43	調べる学習自由研究のコツ！		7月30日	児童	9人	14人 (2回開催)	図書館を使った調べる学習コンクールに向けた、児童向け講座。
44	青空子どもとしょかん おはなしリレー！		8月10日	児童・保護者	77人	80人	野外での読み聞かせ会。 協力 M'sきやまらど、でんでんむしサークル、苫小牧子どもの本の会、にじのはし
45	くらやみ図書館見学ツアー		8月10日	児童	19人	17人	館内を巡る図書館利用ガイダンスツアー。児童向け。 協力 おはなしオルゴール
46	平和祈念映画上映会		8月12日	児童・一般	8人	6人	戦争・平和関連の上映会。
47	絵本『希望の牧場』原画展		8月31日～ 9月26日	児童・一般	—	—	森絵都氏、吉田尚令氏による絵本『希望の牧場』原画展。 協力 吉田尚令氏（絵本作家）
48	第10回苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール		9月作品募集	児童	応募数9点	12作品	入選 4作品 表彰式11/9 作品展 11/9-11/17 後援 苫小牧市教育委員会 協力 苫小牧市科学センター 共催 苫小牧学校図書館協会
49	えほん「しましまぐるぐる」のかしわらあきおさんとワクワクなしかけ絵本をつくろう！		9月7日	児童	30人	80人 (2回開催)	絵本作家から作品の描写を学んだり、工作をするワークショップ。 講師 かしわらあきお氏（絵本作家）
50	世界アルツハイマー月間inとまこまい 2024関連展示		9月11日～ 9月25日	児童・一般	—	—	認知症に関する特集展示。 共催 福祉部介護福祉課
51	ひとはこ図書館（幼児～小学生編）		10月5日	児童	11人	15人	小さな箱を図書館に見立て、幼児・小学生が館長になる体験型事業。
52	製本講習会 「和綴じをやってみよう！初級編」		10月16日	一般	4人	10人	修理・製本に関する講座。簡単な製本方法でオリジナルのメモ帳を作成。

53	秋の読書週間行事 みんなで、うち読！レッドイーグルス北海道 選手オススメ本&パネル展示		10月26日～ 11月28日	児童・一般	50部 配布	50部 配布	レッドイーグルス北海道選手オススメ本リスト配布・ パネル展。 共催 レッドイーグルス北海道
54	図書館文化セミナー（一般） 桜木紫乃トークライブ&サイン会「言葉で 元気になりた〜い。」		11月3日	一般	80人	50人	文学、図書館、ほか一般向けテーマを設けた講 座。 講師 桜木紫乃氏（作家）
55	ひとはこ図書館番外編 BOOK DIRECTORになろう		11月16日	一般	8人	8人	小さな箱を図書館に見立て、一般の方がブックディ レクターになる体験型事業。
56	苫小牧地区小・中学校新聞コンクール		11月19日～ 11月28日	児童・一般	—	—	新聞コンクール入賞作品の展示。 共催 苫小牧民報社
57	市内小学校図書委員向け一日司書体 験（後期）		11月23日	児童	14人	15人	図書委員対象の職場体験。 共催 苫小牧学校図書館協会
58	図書館文化セミナー（児童） 升井純子さん・小寺卓矢さん講演会「『さ くらら』ができるまでの2472日」		11月30日	児童・一般	40人	40組 55人	児童と保護者を対象とした講演会。 講師 升井 純子氏（児童文学作家）、小寺 卓矢氏（写真絵本作家）
59	小・中学生俳句入賞作品展		12月24日～ 1月13日	児童・一般	—	—	市民文化祭入賞作品展示。 共催 苫小牧市俳句協会
60	本の手帖2025		1月4日～	一般	実施予定	既配布300冊	記入式の読書記録手帳の作成・配布。
61	苫小牧川柳社作品展		1月14日～ 1月26日	児童・一般	—	—	会員制作作品の展示。 共催 苫小牧市川柳社
62	冬休み読書感想文コンクール		1月作品募集 （予定）	児童	実施予定	応募数135点	市内児童・生徒による冬休み期間中の読書感想 文コンクール。
63	読書感想文集発行		3月発行 （予定）	児童	—	—	市内児童・生徒による感想文コンクール（夏・ 冬）の作品文集の発行。
64	雑誌リサイクル市		3月 （予定）	一般	実施予定	137人 1134冊	除籍雑誌の無償配布事業。
＜運営計画4 関連事業＞							
No.	事業名	新規	開催日程	対象	参加者数	（前年参考値）	内容／共催・後援等
65	出張！図書館！ 出張！移動図書館！		通年 5月28日 5月29日 7月16日 7月24日 8月29日 9月11日 9月21日 10月6日 10月30日 11月4日 11月27日 1月24日(予定) 2月13日(予定) 3月12日(予定)	一般・児童	477人 (14回中11回)	100人 (5回開催)	アウトリーチとして、他の施設でのおはなし会等を開 催し周知活動を図る。移動図書館車での実施や 図書セルフ貸出ロボットも導入する。 派遣先：苫小牧キラキラ保育園、認定こども園も も花幼稚園、ひよし保育園、苫小牧キラキラ保 育園、大成児童センター、北栄児童センター、 nepiaアイスアリーナ、勇払公民館、住吉児童セ ンター、備えるフェスタ2024inとまこまい、日新児 童センター、錦岡児童センター、あさひ児童セン ター、沼ノ端児童センター
66	館内照明のLED化追加換装		5月20日	一般・児童	—	—	館内照明の、LED化追加換装。
67	アウトリーチ時のセルフ貸出ロボットの導入	○	年度内実施	一般・児童	—	—	アウトリーチ時に使用する、図書セルフ貸出ロボッ トを導入する。

・ 苫小牧市蔵書整備計画の見直しについて

蔵書整備計画とは

市民の知的源泉として地域文化を下支えするための資料・情報の収集・提供・保存機能の充実を図ることや課題解決支援型の図書館サービスを実現する蔵書構成となるように資料の収集・除籍等を行い、蔵書を計画的に形成、維持することを目標に策定した計画です。

・・・・・・資料 5-1 蔵書整備計画、資料 5-2 蔵書整備計画概要

※12 月 17 日の会議では、「資料 5-2 蔵書整備計画概要」をもとにご説明いたします。

計画期間は、令和 2(2020)年度から令和 11(2029)年度で、計画期間の半期を目途に具体的な取組と全体の進捗状況について点検を行うとしていることから、中間目標値である令和 5 年度の目標値と実績値を比較して点検を行います。

・・・・・・資料 6 具体的な取組の実施状況について

・・・・・・資料 7 蔵書整備計画の中間目標とその結果について